



市川市立第二中学校

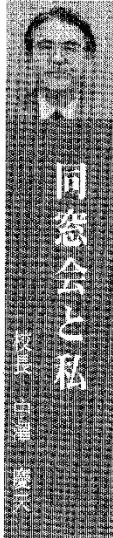
同窓会会報 News Letter

第2号 平成11年10月30日発行

市川市立第二中学校
同窓会
〒272-0825
市川市須和田2-34-1
市川二中内
編集 広報委員会
編集責任者 山田尚美
E-mail :
suwada@endeavor.to

市川市立第二中学校同窓会

会報第二号



同窓会と私

私、本年4月に市川市立第二中学校に着任しました校長の中澤と申します。二中の校長は私で、「下八代目」になろうかと思いますが、何とぞよろしく願ひ申し上げます。

私的なことで恐縮ですが、私のように長く教員をしており、私自身も同窓会とかクラス会という言葉を耳にしますと、何か格別なひびきをもって聞こえます。と言いますのも、私自身がクラス会によはれられたり、教え子の結婚式に招かれたりすることがよくあるから

です。即ち自分自身のさまざまな思い出に重なってくるからです。たとえ、同じクラスから三組のカップルが誕生したケースもありましたし、つい先日教え子から突然の電話がありましてその中身は、私が市川一中で受けもつた昭和51年度の卒業生からのもので、西暦二千年を期して同窓会の準備をすすめているので是非出席してほしいと言うものでした。

思えば、戦後教育のスタートと共に小中時代をすごした人達です。当時の日本は、戦後民主主義のまっ只中にあつて、学校にも自主自立の気風が漂っていました。その中で子ども達は自由にのびのび育った面があつたように思われます。それも私自身の体験

に重なる部分です。さて、いまや戦後五十数年を経過しまもなく21世紀の新しい時代を迎えます。学校は今どうなっているのでしょうか。果たして昔のような思い出の場になつていないのでしょうか。世の中があまりに変わわりすぎました。皆様方のような大先輩から見ても、あたりはいかなるものではないか。あるいは有名な作家によれば、今ある問題は一言で言えば「問」の問題である、即ち「時間・空間・人間」の3つの「問」がなくなつたことをさす。話がまとまりませんが、皆様方のご支援を切に願ひ申し上げると共に同窓会のみならず、ご発展を祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

同窓会の会員は今年卒業された第五十期生を加え、いまや一万六千名に達しようとしておりますが、会報をお届けし活動状況を知っていただけた方々は旧教職員を含めて二千名程しか居られませんが、活動の軌道に乗せるためには一刻も早く近づけなくてはならず、3月に各卒業年次の世話役に当たる評議員候補者にご参集いただき、未確認の方も含めて約60名の評議員が選出されましたが、組織上まだ不備な状況にあります。

昨年の総会以降、現在までに8回開催され、各理事は職場や家庭で多忙な日々を過ごす傍ら、組織や名簿の整備、総会開催、会報発行、学校行事への参加等の活動に取り組んで居ります。

は評議員も加わり段々と組織が整備されつつあり、役員一同、一致協力して同窓会により良い運営を目指して努力して参りますので引き続きご支援をお願い申し上げます。



組織の強化に向けて

同窓会会長 桑村 益夫

現在実質的な同窓会活動の主として支えている理事会は

平成11年度の定期総会は別項の通り開催され、今後二年間の活動を支える役員が、私を含めほとんどが留任の形で選出されました。今年度から

同窓会活動の意義は、卒業生相互や旧教職員との絆を保ち親睦を計ると同時に学校との交流を維持し、卒業後の母校の発展に関心をもち、ひいては地域社会にも何らかの寄

与をして行くことではないかと考えます。同窓会は現状では二千名程の極めて限られた方々によつて支えられて居るに過ぎず、人的、経済的資源は非常に脆弱であります。このような状況の下に活動を維持して行くには、会報をお読み下さっている方々の積極的な参加や、可能な限りの財政的支援が不可欠であります。今回、また賛助金を募る事になりましたので宜しく願ひ致します。さらに目下の急務である名簿の整備についても、別項の名簿整備委員会の呼びかけに絶大なご協力をお願い致します。

平成11年度 定期総会開催される 緑陰の須和田が丘で

さる6月6日(日)、午後2時より市川二中体育館において定期総会が開催されました。江ばむ初夏の口差しの中、同窓生62名、旧・現教職員7名、PTA、在校生を含め105名が出席し旧交をあたためました。今回初めて約一万六千人、厚さも5cmにも及ぶ二中同窓生全員の名簿台帳を閲覧に供し、関心を集めました。

総会は内盛渉副会長(31期)の司会により開会。桑村益夫会長(1期)の挨拶、今年4月に着任された中澤慶夫校長(第18代)の挨拶がありました。司会から「来席いただいた宮本勉、秋元茂樹両元校長、旧先生方、PTA会長、副会長の紹介が行われました。次いで会長指名により議長 深川保典理事(20期)、副議長 佐野純子理事(13期)の両理事が選ばれ総会議案の審議に入りました。ポスター制作は天野睦子理事(1期)

総会議案(議案次頁参照)

☆第1号議案 平成11年度活動報告及び決算報告
活動家村会長から報告、決



算報告が井料京子会計委員(1期)から行われ、佐橋陽二会計監査委員(4期)から監査の結果、適正である旨の監査報告があり、異議なく可決されました。

☆第2号議案 平成11年度活動計画及び予算案
秋季の「同窓会会報 第2号」の発行、名簿整備等を骨子とした活動計画を山田尚美副会長(5期)が、予算案が篠崎貴会計委員(2期)から説明され、異議なく可決されました。

☆第3号議案 役員改選

前役員2年間の任期が終わり本年は役員改選期に当たり



市川駅のポスター

ます。

候補者の指名が行われ、会長(1名)、副会長(2)、会計委員(3)、会計監査(2)、理事(20)兼任(6名を含む)、計延べ28名が指名通り承認され紹介されました。

豊川章理事(3期)、松本伊佐夫理事(17期)、出盛 郎理事(2期)の3理事が退任し、新たに松田恵子理事(5期)、佐橋 三理事(6期)、岩崎隆理事(17期)の3理事が就任しました。(役員名簿 次頁)

以上の通り総会議案は全て審議可決されました。

同窓会と「同窓会会報」の名称、アイディアをお寄せ下さい

☆講演 「六所神社を巡る 須和田周辺の歴史」
市川市立歴史博物館学芸員 池田真由美先生による地元六所神社の由来は興味深いお話でした。



池田真由美先生

☆プラスバンド演奏
昨年に続き鈴木宏先生指揮により在校生(全員女子)による演奏が行われました。テーマ「ダンス」モデルマーチ 潮 煙



帽子が当たって喜ぶ在校生

第1号議案

(1)平成10年度活動報告
4月1日 49期生新会員入会
4月8日 入学式・会長挨拶代理
5月16日 10年度定期総会開催
9月26日 須和田へふれあい広場参加
10月31日 「同窓会報」復刊第1号発刊
12月29日 評議員選出依頼
3月6日 50期生連絡委員会への説明会
3月10日 50期卒業式・会長挨拶
3月26日 第1回評議員会開催
この間、理事宅を8回開催

(2)平成10年度 同窓会決算報告

表1参照

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
『五十年史』編集委員会から移管	456,534	総会関係費	205,215
新会員入会金	47,000	「同窓会会報」関係費	227,882
協賛金	955,080	評議員会関係費	18,585
『五十年史』売上金	30,000	運営活動関係費	9,783
雑収入	15,325	雑費	12,420
		次期繰越金	1,030,554
合計	1,503,939	合計	1,503,939

同窓会会計委員 井料 京子

同窓会会計監査委員 佐橋 陽二

監査の結果適正であることを認めます。
平成11年6月27日

第2号議案

(1)平成11年度同窓会活動計画
・50期生新会員入会(4月1日)
・平成11年度定期総会開催(6月6日)
・「同窓会会報」第2号発刊(10月末)
・名簿整備(既存名簿のデータ化、名簿台帳作成、その他)
・学校行事参加
(入学式、須和田祭、卒業式など)
・財政基盤の確立(協賛金徴収など)

(2)平成11年度同窓会予算案

表2参照

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	1,030,554	総会関係費	200,000
新会員入会金	40,400	「同窓会会報」関係費	250,000
総会出席者会費	100,000	会議費	50,000
協賛金	300,000	名簿作成関係費	100,000
『五十年史』売上金	30,000	積立金	200,000
		予備費	50,000
		次期繰越金	650,954
合計	1,500,954	合計	1,500,954

同窓会役員(平成11、12年度)

会長(理事)	1期	益夫	夫美
副会長(理事)	5期	山内	尚彦
会計委員(理事)	31期	村田	盛科
会計監査委員(理事)	1期	井藤	京子
	2期	藤崎	實夫
	10期	加藤	重陽
	4期	佐橋	陽二
	10期	小出	武夫
理事	1期	山田	齊
	1期	天野	睦子
	2期	野本	明子
	3期	山下	由利子
(新任)	5期	山松	恵子
(新任)	6期	川松	忠正
	7期	藤本	正三
	8期	藤本	正純
(新任)	13期	佐野	純子
	17期	岩崎	隆
	20期	深川	保典
	28期	安下	秀明
	32期	林	
	43期		

★総会でのアンケートから

同窓会では総会出席者に総会の内容、名簿、同窓会に対する意見等アンケートをお願いしました。そのうち同窓会に対して次の様な貴重な意見をいただきました。今後の参考にさせていただきます。

- 総会は、毎年6月の第一日曜日など日を決めて実施してほしい。場合によってはクラス会、同期会を同じ日に設定できる。
- 6月は暑かったり、雨になったり不順なので、もっと良い季節に総会を開いてほしい。
- 議案毎に質問を受けて後、可決するのが望ましい。
- 議事は書類配布で、意義ななければ済ませたいが、意義なものは現役生を含めた抽選会は楽しかった。自分は外れでしたが。
- 名簿は資金がないし名簿が集まらないので中途半端になる恐れがある。五十年史発行時も集まらなかった。
- 新入会員の入会金だけでは収入源が少ないので年會費千円位徴収したどうか。(参考、小生の大学では卒業生が入会金として支払うほか、年會費も納めていて苦にならないので提案)
- あまり無理のない形でも、組織活動を継続させつつ、若い世代につなげてほしい。
- どんな形でも継続することが大切です。今後もしっかりお願いします。
- 若い人たちが気楽に来れる同窓会になっていくと良いと思います。

●懇談タイム

14時20分より約50分、会場後方にセットされたテーブルで茶菓を味わいながら、出席者の懇談で一時を過ごしました。梅雨入り前の好天に恵まれ、暑く、沢山用意した水も瞬く間になくなりました。会場には木工製品、陶芸等、在校生の力作や昨年の総会の写真も展示され、三々五々鑑賞しました。

●アトラクション

最後に旧教員村上正治先生の指揮、宇野沢瑛氏(1期)のピアノ伴奏で校歌を斉唱し、可会の閉会挨拶で懐かしさを惜しみながら、また、来年の再会を約して散会しました。

最後の旧教員村上正治先生の指揮、宇野沢瑛氏(1期)のピアノ伴奏で校歌を斉唱し、可会の閉会挨拶で懐かしさを惜しみながら、また、来年の再会を約して散会しました。

初めての評議委員会

1期から50期まで一同に

さる3月26日(土)、初めての評議委員会が、中国書室で開かれました。評議委員会は各期からの2名づつの代表と理事で構成され、同窓会運営の中核をなしています。

昨年12月に「五十周年」作業時から協力いただいた方を中心とするべく、川口市近辺という条件で81名ほど評議委員候補者を選び依頼しました。そのうち辞退された方は21名、受諾された方は30名でした。

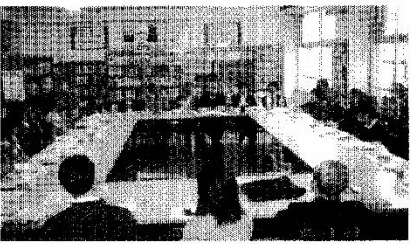
同窓会発足以来、初めての評議委員会は、そのうち19名のご出席をいただき、理事も含め32名、1期から今春卒業したばかりの50期生まで、全期が繋がった訳ではありませんが新旧さまざまな顔ぶれが一同に会しました。

開催の目的は、急な再発足で理事会だけという変則的な組織運営を、早く例会に近づけたもの、同窓会組織のすそ野を広げ、強固にするとともに、各期の親睦を計り顔合わせを兼ねたものです。

自己紹介の後、役員改選年を迎え、新評議委員から次期理事候補者3名が選出されました。その他、定期総会、今後の名簿整備や活動、運営等につき活発な意見、討議が行われました。

評議委員

(委員受諾確認のない方は輪留を要す) (内は旧姓) 10月1日現在



現在の評議委員は下記のとおりです。無印は受諾確認のされていない方です。なお次ぎの8つの期は未定の期です。

Table listing evaluation committee members by term (1期 to 50期) with names and group numbers. Includes names like 池田愛, 岸田弘, 吉田和雄, etc.

恩師からのお便り

一 藝文内返信ハガキから

紙面の都合で近況のみにさせていたしましたが、

(敬称略 50音順)

東京学館浦安中学校で元気にやっています。生徒数が減少し、私学経営も大変です。

秋間 智

離任してよりは、25年以上たつてしまいました。現在は浦安市の教育委員会に勤務し日々楽しい生活を送っています。

近況、県議、市議の選挙戦で多忙です。私的には教職の他、一面文学活動をしています。作品集「好日」を出版しました。関係各方面で話題になりました。ペンネーム宇井要子です。

伊藤喜之

現在、市体育協会、市ハレボール協会等の会長や、市社会教育委員、市スポーツ振興協議会の副会長並びに幼稚園の園長など、毎日元気にやっております。校長退職後7年目を迎えました。

二中の思い出「校訓を掲げて」

第九代校長 鈴木昌男



私は昭和四十九年四月一日付、市教委保健体育課長から第二中学校長に任命され、責任し学校経営方針を継承して、一ヶ月間に渉り省察して次の事を考えました。

秋元茂樹

生徒教育の観点から個人の特性の分化に充分配慮しながら、将来の進路選択には、ひとりひとりの生徒の能力、適性に応じて選択し行動できるように教育計画の統合化をはかり、多面的な価値観の社会を生きて、人間の資質を培う教育を考へて、昭和五十四年四月一日に校訓として制定し掲げたことでした。

其の校訓の生命として、

第一に健康を置き、若き日に君は体を養え、とす。隔絶された過密の生活環境にある生徒達

が、心身の健康の保持増進を自らはかり、逞しく生きて行く体力を練ることです。第二に知能の形成を磨き、若き日に君は知能を磨けと呼びかけ、自ら次代に生きるための人間として必要な知能を若き日に磨き知識志向の現代及び未来社会に対応できる人となることを考へて、

以上が校訓を掲げての実態のご報告であります。二中在職五ヶ年余日のご支援助とご協力下さいました当時の教頭先生方、始め諸先生方、並びにPTA会長各位様はじめ各役職の方々、会員各位様のご支援助とご協力に感謝いたし敬意を表しつ止筆いたします。

鈴木校長先生生誕の「校訓を掲げて」の教育活動の史蹟に対して教育功労者として次ぎの賞を授けられました。昭和51年11月1日、市川市教育委員会、教育功労賞、昭和53年11月1日、千葉県教育委員会、教育功労賞

二中ニュース

- 平成10年 9月・合唱コンクール(11日) 10月・須和田祭(15、16日) 10月・中洲フェス(25、26日) 11月・中洲フェス(29日) 11月・二中ブロック音楽会(3日) 12月・期末テスト(26、27日) 12月・白百合学級合同学習発表会(28日) 平成11年 1月・カルタ大会(1、2日) 2月・学年末テスト(25、26日) 3月・予備会(3日) 3月・第50回卒業式(10日) 4月・離任式(1日) 5月・PTA総会(1日) 5月・体育祭(22日) 6月・修学旅行(30、1日) 6月・期末テスト(23、24日) 6月・白百合学級合同補習学習(白百合少年自然の家30、1日) 7月・一学期終業式(19日)

★部活動 市川浦安一学生大会 市川浦安交流大会 剣道女子団体 剣道男子団体 吹奏楽部 柔道部 空手道部 弓道部 水泳部 卓球部 囲碁将棋部

★定期評議 7年前大学定年退職、日下女短大で専門の能楽論を週一回講義して、あとは能・狂言を観てくれています。

★草深 清 今年、真岡小学校障害児学級に転勤いたしました。二中が校訓を掲げての実態のご報告であります。

★小池 真 今年、真岡小学校障害児学級に転勤いたしました。二中が校訓を掲げての実態のご報告であります。

★濱田龍一 小生、元気にまた更正首財人の仕事を続けています。

クラス会だより

会員だより

一寄稿

☆小さな輪から大きな和に

2期E組 (谷川) 順子

二、三年ごとの先生を囲んだクラス会が十三名程の旅行会となり、泊りが二泊となり、来年度の五年目です。48年を経て、来年度の時代に再び男性群の心癒しさにふれ思わず自分を振り返り、人の幸せを全員で喜んだり、涙出しながら思いつき笑い、来年からはご夫婦での参加がとまで話がとび出したりして。それはそれはストレスなんか飛んでしまふ大きな和になった。二期生三ノE組です。

☆五期の仲間達

真清水会のこと

5期A組 本吉健也

光陰矢の如く、54年に卒業しておよそ半世紀近くの歳月が流れたが、五期の仲間が集まれば心はいつも青春時代となる。仲間の三村君が会報の復刊第一号で紹介したように、86年に第一回の同期会が開催されたが、その当時の幹事がこの集まりの母体となったようだ。私も幹事会に関西から出張を利用して毎同出席したものである。そ

して私が88年に東京転勤になって二十七年振りに戻ってきた時には、仲間達が歓迎会を開いてくれた。その中には二中の気象部の仲間(市川二五十年史の七二頁を参照)や卒業後の山仲間も入り、男女十数人の集まりである。年に一、二回程度の飲み会と時には泊りがけのゴルフを行う。お互いに卒業以来は異なる道を歩んできただけに、話をするだけでも実に楽しい。男達は会えばすぐに悪戯鬼の頃に話を花を咲かす。以来、今日に至るまでこの集まりは続いている。また「五十周年史賛助金の話を山田さんから相談を受けた時も、この仲間達を中心に幹事会を結成して第二回の五期同期会を97年春に行い、募金活動を大いにアピールしたものである。時は流れて、私も仲間の人りがり今年三月に還暦で定年を迎え、新しい事業を始めるために再び関西へカムバックすることとなった。十数人の仲間達を祝う歓迎会を開いた。(写真)その会合で、この集まりの名称の五期の有志の集まりを「真清水会」と名づけた。この名前は、勿論、わが二中の校歌の「節」真間の真名井の真清水」に由来している。こんなと湧き出る清らかな水をイメージした名前は、私達にこれから生きる力を与えてくれるよう



真清水会 (5期)

だ。私の十一年間の東京生活での二中の仲間達との交遊は、遠く関西の地に居ようとも生涯忘れないであろう。そして「須和出が丘」は心のふるさとである。

☆同窓会役員になって

28期3組 安芸澄子

数年前のことである。ある日突然、電話がかかってきた。「市川二中期の桑村と申しますが。」現同窓会会長からだった。創立50周年を期して五十年史が刊行されること、同窓会再発足に向けて名簿を整備するのに我々の期に手伝う人がいないこと等、いろいろの説明された、結ぶことができる範囲でかまわないから、名前だけでも、ということ

☆二中に「感謝」

50期4組 藤田寛徳

三年間の中学校義務教育を終えて、というより市川市立第二中学校を卒業しての今の心境、それは「感謝」です。熱心に生徒一人一人を教育し、見守って

になってしまった。何十年かぶり(?)に母校を訪れた。懐かしの坂を登りつめると、当時とほとんど変わらぬ校舎、校庭が見えてきた。「ごんにはは！」と元気な挨拶が飛んできた。土曜日である。今日は登校日なのか、今時の在校生は礼儀正しいいな、などと感心しながら会議室へ向かう。すでにいらっしやっやと、方々は先輩方である。開の方で小さくなっていただけで、まさに「いるだけ」の私だった。同期の友人、知人達の消息を、当時の卒業アルバムを頼りに探っていくが、転居先も全くわからない人も多い。そんな中でたまに、昔話に花を咲かせる友人との出会いもある。ひとしきりおしゃべりした後、そういえば、あの人は今どこにいますよ、といった場もある。方式で、転居先がわかる場合もある。クシの歯の欠けたような住所録が埋まるのは、一体いつのことになるのだろうか。実際、ほとんどお役に立てないまま、同窓会再発足後は理事という立派な肩書までいただいたしまった。

役員会内通信ハガキか?

役員会内通信ハガキか?

1期A組 山本洋之 いろいろのお話をかけています。有難くお礼申し上げます。昨年、40年間の会社勤めを終え、現在は保険代理店業を営んでいます。 1期A組 米本尚之助 ますますの体調もよくなっていきます。仕事は時々やっています。 2期F組 小口正彦 一昨年、サラリーマン生活から開放され、主人業に専念中。全く気ままな毎日です。 2期F組 小倉晴之 東京都の選抜野球チームの2部で今リーグ戦の最中で、サードで4番を打ち「野球小僧」を楽しんでいます。 2期E組 大村(谷川) 順子 お忙しいでしょうにほんとうにお疲れ様です。テニスの方の試合がどうしてもキャンセル出来ず今日まで連絡もせず申し訳ございません。2期E組は5月7日(日)9日、男子5名、女子5名の旅行に参加しました。又女子の不参加者3名を加えて夕食会として(8時)H6時から5月21日(金)まですばらしい時間を過ごしたことが出来た。報告まで。発信人は大村です。

度の諸々の雑事に追われていきます。遠方より、市川二中期同窓会総会の成功をお祈り申し上げます。 本年1月31日付にて満60才にして定年退職しました。すぶる健康にて目下休養中です。皆さんにお会いできることを大変楽しみにしています。どうぞよろしく。 5期D組 大川(巻) 紀美子 市川市内から、一度も出ずいますので、須和田公園等の変わり方も今はなつかしく思われます。 8期F組 矢作(景山) 望 同窓会のご案内をありがとございます。あいにくと先約があり欠席致します。子育てでも熱心、昨年コンサルタントの会社を設立して、ピットクバンに向けて楽しく元気よく仕事仲間と共に新居にお引越しをいたしました。リスケ(ハッス)とC.S.が企業理念「三方共に少しずつの幸せ」をあい言葉に「セブンス・スペース・コンサルタンツ」です。 9期D組 渡辺(鈴木) 節子 八千代中央病院にて経理の仕事をしております。 12期D組 岸 道子 元気な通してあります。皆様によるしくお伝え下さいませ。 12期D組 西海(松本) 紀美子 リウマチがひどく悪化して手、足の痛みがひどく申し訳ありませんが欠席させていただきます。 14期4組 栗生 明 千葉大学で建築を教えるから、わたら事務所を主宰し建築の

設計活動をしています。 20期6組 斉藤守弘 申し訳ございませんが、今回は欠席させていただきます。なお、現在市川市役所に勤務しております。 24期5組 直喜(江原) 房子 出席できず、申し訳ありません。今は、両親も大阪におられますので、なかなか千葉方面に行くことがありません。 29期1組 榊原雅史 私立高校で国語科非常勤講師をやっています。同校では7年目です。一中を卒業、就職して以来ずっと教育畑です。 30期3組 船川 孝 だきおつかれ様です。二中を卒業してもう20年たちました。本当にあつたという間でした。なつかしい仲間会いたいのですが、仕事で出席できません。皆様によろしく、ありがとうございました。 33期1組 両宮 慶 現在、米国の法律事務所勤務しております。故、残念ながら出席できません。帰国する際には是非出席したいと思っております。 50期4組 小川尚之 高校でテニス部に入って頑張っていました。日曜日試合があるかもしれませんが、今回は残念ですが欠席します。

定期総会案内の返信ハガキでの同窓会に対する質問にお答えします。 ☆Q: 13期2組 畑(服部) 宏子 前回の総会は友人からの誘いもありましたので参加させていただきました。その後、少々遅れてきたのも名簿ではなく五十年史というの肩すかされた感じがいたしました。何もせず申し訳ないです。か、正直な感想です。全体の名簿の作成にも動いていることですが、クラ単位では分からないことも、せめて同期が集まればもう少し分かることもあるのではないのでしょうか。 ☆A: 総会については、まだ2回目というところで、昨年と少し内容を変えてみました。また、来年以降も皆様のからの声を聞いて少しずつ変えていきたいと思います。名簿に関してはおっしゃる通りだと思います。ぜひとも皆様方でも同期会を開催していただきたいと考えています。

☆Q: 18期1組 井道(小西井) 陽子 同窓生の住所録が作成されているのでしょうか? ☆A: 同窓会では名簿の作成を行っています。まだ全体の1割程度しか確認できていません。完成には皆様の協力が必要です。同期会を開催した際には、名簿を理事までお寄せくださるようお願いいたします。

☆Q: 31期10組 浦上(真島) 映子 今、春日市民吹奏楽団に所属しています。プラスバンド関係の人と連絡をとってみたいのですがなかなか。 同窓会に、どんなメンバーが何名位集まったのか、などの報告があれば嬉しいのですが。 ☆A: 今回の会報に総会の様子をレポートしています。 ☆Q: 旧教職員 村木(小山田) 紀子 宛先の名前、住所とも間違っています。宛名が違っていますので、以前の不都合が生じています。以前にも訂正をお願いしましたが、そのままだと願っていますので、どうぞくれぐれもよろしくお願いたします。

同窓会 Q&A



☆A: 本日に申し訳ありません。宛先の名前、住所とも間違っています。宛名が違っていますので、以前の不都合が生じています。以前にも訂正をお願いしましたが、そのままだと願っていますので、どうぞくれぐれもよろしくお願いたします。

こちら 名簿委員会！

名簿委員長
内盛 渉

名簿が無い！…そんな声を聞いたことはありませんか？ クラス会を開きたいんだけど旧友と連絡がつかない。こんなときに名簿があったら…。

同窓会と名簿は切っても切れない関係にあります。市川二中でも同窓会再発足の動きと同じくして名簿調査の活動が活発化しました。何故なら同窓会が再発足することを同窓生である皆さんに知らせなければならなかったからです。しかし、残念ながら手紙を出す資金もなければ、少ないスタッフで同窓生の現住所を一人一人確認していくことも難しい課題でした。僅かな資金を有効に使うには、確実に郵便が届く同窓生に手紙を出すしかない。そんな事情で同窓会か



総会で名簿台帳に見入る同窓生

らの最初の案内は、市川二中五十年史”を購入してくれた方に送られました。そして、これが同窓会名簿の新しい第一歩となったのです。

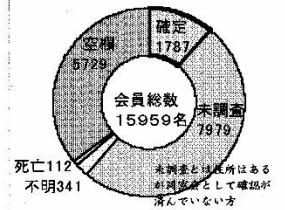
同窓会の会員数は一期生から今年三月に卒業した五十年生までで約一万六千人です。この他に約五百人の旧教職員がいます。では、このうち同窓会が住所を把握できているのはどれくらいでしょうか。だいたい二千人というのが正解です。えっ、そんなもんなのです。確かに何かしらデータがあるという状態なら八千人くらいの会員のデータが同窓会には集まっています。ただ、それらはただあるというだけで本当に手紙が届くか確認できていません。もしくは旧住居表示のままで、現在は手紙も届けてもらえないと分かっているデータもあります。

実は学校にもきちんとした名簿というのは存在しないようなのです。もちろん卒業記録は残っていますので、いつ、誰が卒業したかは分かりますが、どこに住んでいるかまでは分かりません。資金があればとにかく手紙を出してみるのですが、残念ながらそんなお金もありません。だから、皆さんにお願います。同窓生の情報を名簿委員会まで送

つてください。クラス会をやった場合は、そのときに確認したデータを教えてください。できれば変更があった人だけでもなく、そのときに連絡が取れた全員の分を買えれば、その人は住所が変わっていないことを確認できます。同窓会を確立させることは無理でも皆さんから集めたデータを管理することはできるのです。

じゃあ、いつになったら同窓会の名簿を発行するの？という疑問が出てくると思いますが、これについては残念ながらまだお答えすることができません。正直に言えば、皆さんの協力があれば三年後くらいには発行できるかもしれませんし、十年たってもまだ発行できていないかもしれません。とにかく現状では同窓会からの案内を出す会員リストであって、とても同窓会名簿なんて呼べる状態ではありません。我々は本当に皆さんが同窓会名簿を必要としているのかも分からない状態なのです。だから、名簿が欲しいって方は、声を大にして名簿委員会まで同窓会名簿が欲しいって言ってきてください。逆に名簿なんて迷惑だから作るのはいやめてくれという声も聞いています。

同窓会名簿調査状況
(1999年8月)



ういう人もドンドン意見を返してください。最終的には皆さんの意見で同窓会の活動方針が決まるのです。そして、それは名簿発行という事業においても例外ではありません。

最後に、これまで同窓会からの手紙で宛名が間違っていた方、本当に申し訳ありません。ご迷惑をかけた方には心よりお詫び申し上げます。我々も初めての経験で苦勞しています。中にはせつかく貰ったリストの字が読みにくかったり、慣れないパソコン入力でミスしたり、古い情報と新しい情報が混在したり、これからは少しずつ間違えも無くしていく予定です。暖かく見守ってやってください。また、まだ宛名が間違っているという方、申し訳ありませんが理事までご一報ください。

大変厚かましいのですが、今回また、賛助金をお願いすることになりました。同封の振込用紙で、一口千円、何口でも結構です。よろしくご協力をお願い致します。

同窓会からのお知らせ

○同窓会への連絡は役員名簿(P3)を参照し、電話、郵便、FAX等でお願致します。また、メールでの連絡も可能です。
E-mail: suwadead@nator.ttc

市川二中への直接のお問合わせはご遠慮下さい。
○クラス会 同期会の情報をお待ちしております。また、同窓会でクラス会、同期会の開催をお手伝いします。
○『市川二中五十年史』は余部があります。また、八木健次氏(16期)の好意で「八木書店」(バス停「真間一丁目」)、「大杉書店」(市川駅北口)でも扱って頂いています。
旗番は何れも三千元。

編集後記

山口編集長の地道な努力に支えられての2号発行です。パソコン前での編集作業に立ち会い、見事さに感嘆しました。パソコン編集法は息子世代の内盛、下村両理事からの伝授とか。名簿台帳の作成も両理事の尽力のおかげ。
思えば同窓会には多くの分野での知恵や経験たっぷりの人材の宝庫。そこにお宝が見えてきたようです。
(大野記)

広報委員

- 天野睦子 柿本正子 佐野純子
- 安芸澄子 林 秀明 山田尚美